

# NAFLD/NASHのAI診断。改良されさらに実用的に

肝臓川柳

AIで 未来の検査は 一瞬です

(一瞬です…いっしゅんです…ひっしゅんです…ひっしんしゅう…ひしんしゅう…非侵襲)

非アルコール性脂肪肝 (NAFLD)、非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) は、現在確定診断に侵襲的検査である肝生検が必要ですが、ファイブロスキャンなどの非侵襲的検査 (NIT) で診断の代用が出来ないかと盛んに検討されています。

2021年に済生会吹田病院の岡上武先生らが、日常臨床項目である年齢、性、身長、体重、腹囲、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、TCH、TG、血小板値の11項目を用いてAIにより感度、特異度とも極めて高いNAFLD/NASH診断が出来るNASH scope (ナッシュスコープ) 1)、

さらにTypeIVコラーゲン値を加えてNASHの線維化診断が出来るFibro-scope (ファイブスコープ) 2)を開発されました。現在臨床検討がされつつあり、簡便にNASHのスクリーニングや経過観察が出来るのではないかとされています。

最近、日常臨床項目の中の腹囲を省いた測定法 (Fibro-scope V1.0.1) がさらに正確に診断できると報告されています3)。グローバルにも通用する、より簡便なAI診断法となっており今後の展開が注目されています。

1. Okanoue T, et al: Artificial Intelligence/neural network system for the screening of non alcoholic fatty liver disease and non alcoholic steatosis. Hepatol Res. 2021 51(5) 554-569
2. Olkanoue T et al: Novel artificial intelligenc tneural network system for staging of non alcoholic steatohepatitis. Hepatol Res. 2021 51(10):1044-1057
3. Kanji Yamaguchi, et al: Fibro-Scope V1.0.1:an artificial intelligence/neural network system for staging of nonalcoholic steatohepatitis. Hepatol Int. 2022 Dec 21.doi.10,1007/s12072-022-10454-0. Online ahead of print.



## これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

AIにより簡便にNASHのスクリーニングや経過観察が出来るように現在臨床検討がなされており、グローバルにも通用すると、今後の展開が注目されています。

(文：文：福井県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター長 野ツ俣 和夫)